

ルクセンブルク経済・金融情勢（2011年10月）

【トピック】

- ・ フリーデン大臣が2012年予算案を国民議会に提出した。
- ・ カタールの投資家がデクシアBILの買収につき交渉を実施。
- ・ ギヨーム皇太子殿下及びクレック経済・通商大臣が経済ミッションを率いて中国を訪問した。
- ・ 政府が今年度の「Bilan compétitivité（競争力レポート）」を発表した。EU27か国における当国順位は前年の9位から10位に後退。
- ・ アルセロール・ミタル社（本社ルクセンブルク）が、豪マッカーサー・コール社買収からの撤退を発表した。
- ・ 当国オンブズマンのマーク・フィッシュバッハ氏が年次報告書を提出。

1. 製造及び建設セクター

製造セクター

2011年半ば以降原材料費が下落しているが、工業製品価格への影響はまだそれほど大きくない。工業製品価格は2011年第2四半期以降安定している。これは、鉄価格や非金属鉱石価格が下落する一方で、食糧・エネルギー価格が上昇傾向にあることを受けたものである。

建設セクター

2011年第1四半期における住宅用不動産業界は、需要が旺盛で一種のバブル状態にあった。住宅価格は、賃貸・販売、戸建て・集合住宅を問わず大幅に上昇した。契約数はベルシエン法関係で多かった2010年第4四半期よりも減少はしたが、比較的高い水準で推移している。

2. 金融セクター

- (1) 11年9月末現在銀行資産残高は8,033億ユーロ。
- (2) 11年10月末現在銀行数は142行。
- (3) 11年10月末現在投資信託残高は2兆719億ユーロで、前月比1.96%増。
- (4) 10月13日のスロバキアの国会承認を最後に、ユーロ圏17か国全てが欧州金融安定化ファシリティー（EFSF）枠組協定の改正を承認した。同月18日施行。

3. 雇用情勢

- (1) 11年10月の季節調整済み失業率は6.0%（推計値）。
- (2) 11年前半の倒産件数は458社にのぼり、昨年同時期の438社より4.6%増加している。倒産に関連して削減されたポスト数は1497にのぼり、建設セクターにおける倒産による失業者数は全体の43%を占めている。なお、500人近い従業員を擁していた建設会社Socimmoの倒産に伴う失業者はこの数字に含まれていない。

4. インフレ

- (1) 11年10月のインフレ率は年率3.4%（前月同3.3%）。
- (2) 石油製品価格は高止まりではあるが今年3月以降安定している。この安定が続けば、これからの半年でインフレ率は徐々に低下すると見込まれる。

※ 当国政府機関（統計局等）の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。